

京都市京セラ美術館開館1周年記念展

Kyoto City KYOCERA Museum of Art 1st Anniversary Exhibition

# モダニ建築の MODERN ARCHITECTURE IN KYOTO 京都



2021 / 9 / 25 [sat] → 12 / 26 [sun]

京都市京セラ美術館  
Kyoto City KYOCERA Museum of Art

明治時代、東京への遷都を機に衰退した京都は、その後の復興を経て、教育や先端技術、文化や観光などにおける先駆的な都市として発展し、それらを象徴するように数々の名建築が生まれました。そして幸運にも、明治以降に建てられた洋風建築や近代和風建築、モダニズム建築など、いわゆる「モダン建築」は数多くが現存しています。明治以前の古建築はもちろん、近現代建築の宝庫でもある京都は、歴史的価値のある建築の保存活用の先進都市であり、日本近代化の縮図を示す「生きた建築博物館」と言っても過言ではありません。本展は、京都を代表するモダン建築の一つ、京都市京セラ美術館を会場に、建築を通して京都を知る当館初の大規模建築展です。貴重な原図面や模型から時代背景を伝える写真や映像、家具まで、多様な資料が展示されます。展示鑑賞と同時に建物探訪や街歩きなども体験することで、古建築と庭園だけではなく、京都のもうひとつの魅力に触れる絶好の機会となるでしょう。

# 7セクションで、36プロジェクト

現存する明治、大正、昭和の「モダン建築」を厳選し、貴重な資料とともに紹介

## Section

### 古都の再生と近代



平安京の時代から千年、皇室をはじめ公家や諸侯らのお膝元として栄えてきた京都は、明治に入り、東京遷都によって一気に衰退し、官民が一致して復興に取り組みます。なかでも推進力となったのは教育と殖産興業です。初めに紹介するのは、西洋の文化や技術を取り入れ、京都の再生を成し遂げた象徴的なプロジェクトです。

#### [展示プロジェクト]

第四回内国勸業博覧会と平安神宮、琵琶湖疏水と旧御所水道ポンプ室、京都市明倫尋常小学校(現・京都芸術センター)、鳥津製作所河原町日本社(現・フォーチュンガーデン京都)



旧御所水道ポンプ室 画像提供:京都市上下水道局

## 様式の精華

本格的な様式建築が京都を飾り始めるのは、東京や大阪での成熟を経た明治後期からでした。庁舎や銀行、邸宅などにバロック、ルネッサンス、チューダー、スパニッシュといった多様な様式が導入され、良質な作品が生まれました。生命力の強さ、豊さを示す様式建築の傑作に出会えるのも京都の魅力です。

#### [展示プロジェクト]

帝国京都博物館(現・京都国立博物館)、京都府庁旧本館、長楽館(旧村井吉兵衛京都別邸)、下村正太郎邸・中道軒(現・大丸ヴィア)、旧外務省東方文化学院京都研究所

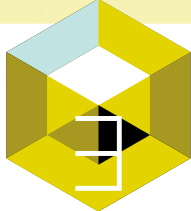
## Section



長楽館(旧村井吉兵衛京都別邸) 画像提供:長楽館

## Section

### 和と洋を紡ぐ



「日本に建つべき建築とは」という問いは、日本が西洋建築を学び始めた明治初期から投げかけられていました。日本からアジア、ヨーロッパを捉え直し、時には中国や中東などの要素も混ぜ合わせることで、和と洋の隔たりを埋めようと試みました。こうした日本と多様な文化が折衷した建築は、京都にこそ相応しいのかもしれない。

#### [展示プロジェクト]

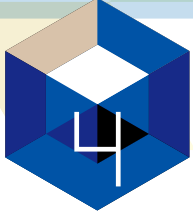
真宗信徒生命保険株式会社本館(現・本願寺伝道院)、京都大倉別邸(現・大雲院)祇園閣、京都市庁舎本館、聴竹居(旧藤井厚二自邸)、大礼記念京都美術館(現・京都市京セラ美術館)



大礼記念京都美術館(現・京都市京セラ美術館) 撮影:来田猛

Modern architecture appeared in Kyoto under the Meiji period “civilization and enlightenment” policy of modernization. The national capital had been transferred to Tokyo, but Japanese architects who had newly learned ideas of western architecture were inspired by the historic appeal of Kyoto and Japan’s drive for modernization. Many buildings from the Meiji, Taisho, and Showa periods, including the Kyoto City KYOCERA Museum of Art, remain in use today. Kyoto’s experience in the preservation and utilization of historically important architecture is extensive and the city is a living architecture museum offering many examples of modern and contemporary buildings that coexist with premodern and ancient architecture. This large-scale exhibition of modern Kyoto architecture at the Kyoto City KYOCERA Museum of Art is especially meaningful because the Museum building itself is an important example of modern architecture in Kyoto. The exhibition also underscores the fact that Kyoto architecture is more than shrines and temples. As a comprehensive introduction of modern architecture in Kyoto, the exhibition will include original drawings, architectural models, photographs and videos. A city walking tour will offer a chance to enrich the experience of Kyoto architecture.

## Section ミッションナリー・アーキテクトの夢



カトリック、プロテスタント、聖公会、ロシア正教会の四大教派すべてが近代初期の京都に拠点を築き、その活動や文化が都市に根づきました。本章では、キリスト教建築の設計を課せられた使命として、天職として臨んだ建築家、いわゆるミッションナリー・アーキテクトが、その崇高な理念と共に夢見た建築を紹介します。

[展示プロジェクト]

新島旧邸、同志社クラーク記念館、同志社礼拝堂、平安女学院明治館



同志社クラーク記念館 撮影:三吉史高



レストラン矢尾政(現・東華菜館)  
撮影:三吉史高

## 都市文化とモダン

人々が求める近代都市の風景は、いわば「新しく古いもの」なのかもしれません。抽象化されたモダンなデザインでありながらも、様式性を残した装飾的な細部、伝統的な要素を持つ、時代を超えて人の目や触感になじむもの。そんな新しさと古さがせめぎ合う個性的な建物たちが京都のモダンな街の風景をつくっています。

[展示プロジェクト]

日本銀行京都支店(現・京都文化博物館別館)、レストラン矢尾政(現・東華菜館)、進々堂(現・進々堂京大北門前)、日光社七条営業所(現・富士ラビット)、フランソア喫茶室

## Section



## Section 住まいとモダン・コミュニティ



明治後半から学者や芸術家、文筆家といった人々が市中心部から郊外へ移り住み始めました。自然と山への眺望、閑静でゆとりある住空間、明るくモダンな生活文化、隣人とのコミュニティを求めて。近代の住まいとその周辺環境は、その時代の居住をめぐる価値観と思想をいまに伝える、希望と憧れに満ちた空間なのです。

[展示プロジェクト]

南禅寺界隈別荘庭園群・無鄰菴(旧山縣有朋京都別荘)、吉田神楽岡旧谷川住宅群と茂庵庭園(旧谷川茂庵茶苑)、衣笠絵描き村・木鳥櫻谷旧邸、北白川学者村・駒井家住宅、堀川団地



駒井家住宅(駒井卓・静江記念館) 画像提供:日本ナショナルトラスト

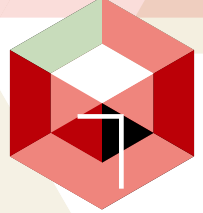
## モダニズム建築の京都

意匠、設備、施工などの側面から合理的な建築を追求し、様式建築からの脱却を目指した戦前。国際的な潮流を受容しそれを進化/深化させた戦後。新しい時代の到来を予感させる名作から、モダニズムの美学を継承しつつ、環境や伝統文化を取り込み、風土に馴染む空間の創造に成功した傑作まで、未来へ遺したい建築が京都には存在します。

[展示プロジェクト]

京都中央電話局西陣分局舎(現・西陣産業創造會館)、京都帝国大学(現・京都大学)楽友會館、日本野精吾邸、鶴巻邸(現・栗原邸)、京都帝国大学花山天文台、同志社アーモスト館ゲストハウス、京都大学総合体育館、国立京都国際會館

## Section



国立京都国際會館 画像提供:国立京都国際會館



# 「モダン建築の京都」を読み解く3つの視点



SDGsやニューノーマルの時代にこそ必要な“再生”のまなざし

## 1.なぜ今「モダン建築」なのか？

戦後、経済性と合理性を追求し繰り返してきた解体と建設により、歴史を重ねて育んできた街の魅力は、非情にも次々と失われていきました。しかし昨今、歴史的建造物の保存活用は、都市の独自性と経済性を両立させる鍵として期待されています。モダン建築の多彩な保存活用でも注目される京都は、伝統と革新が共生する持続可能な未来の姿を映しています。

## 2.「50年」

国の登録有形文化財制度では、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものが登録され保護されます。本展では、1868(明治元)年から1970年代初頭までに竣工した現存する京都の建築を「モダン建築の京都100」として選出し、そのうち36のプロジェクトを展示室で紹介します。

## 3.生きた建築博物館・京都

展示室では、建築を建築史、建築家の視点からだけでなく、その建物を取り巻く関係人脈、時代背景などからも考察して展示します。美術館内での「展示鑑賞による情報」とオフィシャルブックや音声ガイドでの「建築探訪や街歩き」の両方を体験することで、「生きた建築博物館」としての京都の魅力を改めて実感することができるでしょう。



# 400点以上の貴重な資料を展示



展覧会初出展、重要文化財などの貴重な図面、写真、スケッチ、模型、家具、映像、言葉など多様な資料を展示



帝国京都博物館(現・京都国立博物館)  
表門番所正面之図 尺度二十分ノ一  
1895年(明治28年)頃 重要文化財  
h500×w446 mm  
所蔵:京都国立博物館  
画像提供:京都国立博物館  
©後期展示



帝国京都博物館(現・京都国立博物館)  
柱頭裝飾木彫原型  
1895年(明治28年)頃 重要文化財  
h624×w482×d482 mm  
所蔵:京都国立博物館  
画像提供:京都国立博物館  
©後期展示



京都大倉別邸(現・大雲院)  
祇園閣 模型  
1928年(昭和3年)頃  
h1683×w805×d805 mm  
制作:坂本基太郎(建築模型師)  
所蔵:大倉集古館  
画像提供:森美術館  
撮影:来田猛



長楽館(旧村井吉兵衛京都別邸)  
螺鈿細工の椅子  
大正時代以前  
h1050×w1830×d650 mm  
所蔵:長楽館  
撮影:三吉史高



同志社クラーク記念館  
同志社久良留久神学館建築設計図  
1892年(明治25年)重要文化財  
全長約10 m  
所蔵:同志社史資料センター  
画像提供:同志社大学

一部作品・資料は会期中展示替えあり(前期:9月25日~11月7日、後期:11月9日~12月26日)



# 関連 ラーニング・プログラム



講演会 & ディスカッション「モダン建築の京都にみる日本の近代」

日時 | 2021年9月25日(土)14:00~16:20 会場 | 講演室(本館地下1階)

料金 | 無料(要本展の当日観覧券) 定員 | 50名(要予約・先着順) 予約方法 | 本展ウェブサイトよりお申し込みください

登壇者 | 石田潤一郎(京都工芸繊維大学名誉教授)、門井慶喜(小説家)、  
中川 理(京都工芸繊維大学名誉教授)、青木 淳(京都市京セラ美術館館長)

オンライン配信 | 無料・当日ライブ配信(後日アーカイブ公開あり)

配信場所 | 京都市京セラ美術館公式YouTubeチャンネル

その他、オンライン動画の配信やギャラリーツアーも予定しています。詳細は本展ウェブサイトをご確認ください。

# まち歩きを楽しもう！ 会期中のモダン建築連携企画

詳細は各ウェブサイトやSNSをチェック！

## 長楽館



©FORTUNE GARDEN KYOTO

デザートカフェ長楽館では、本館1階サンルームの床タイルデザインを模した本展会期中限定コラボスイーツ「長楽館モダンタイルタルト」が登場！11月13日～12月5日は本館特別公開も（除外日あり）。詳細は長楽館ウェブサイトです。

## FORTUNE GARDEN KYOTO



レストランでは、本展会期中の金曜日特別プランとして、スタッフによるオープン前の館内案内ツアー付きランチをご用意（開始11時のみ、限定10名様）。島津製作所旧本社ビル建築とランチをたっぷり堪能して。詳細は本展ウェブサイトです。

## フランソア喫茶室



立野正一、高木四郎、イタリア人のベンチベニラ若い芸術家仲間が設計し、90年近く文化人から愛されてきたフランソア喫茶室では、本展にあわせてクラシックなスタイルのフランソア流プリンがメニューに登場。サロン風の贅沢な空間とともにどうぞ。

## 無鄰菴



©精興加藤造園

七代目小川治兵衛作庭で明治・大正時代の山縣有朋の別荘、無鄰菴。非公開ルート特別見学「山縣有朋が巡ったルートで回る往時の無鄰菴」を開催。琵琶湖疏水の流れる庭園や歴史的な洋館、母屋でお抹茶やカフェも。詳細は無鄰菴ウェブサイトです。

## DEAN & DELUCA KYOTO



撮影：下村康典

大正5年築でかつて銀行として使われた建物は辰野金吾と片岡安が設計したもの。現在1階に入るDEAN & DELUCA KYOTOでは、本展会期中チケット提示でケーキとドリンクを購入すると200円割引に。詳細は本展ウェブサイトです。

## ENFUSE / ART RECTANGLE KYOTO



撮影：末田猛

展覧会鑑賞後の休憩や、京都まち歩きの起点として最適な京都市京セラ美術館内のミュージアムショップ「ART RECTANGLE KYOTO」とミュージアムカフェ「ENFUSE」では、コラボグッズや特別メニューが登場。

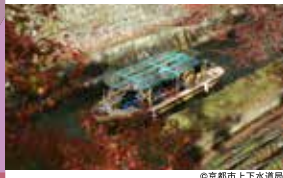
## THE GATE HOTEL 京都高瀬川 by HULIC



©THE GATE HOTEL 京都高瀬川 by HULIC

2020年に元立誠小中学校を再生し生まれかわったTHE GATE HOTEL 京都高瀬川。本展にあわせて、展覧会をご覧になった方を対象にレストランでの優待が。詳細はTHE GATE HOTEL 京都高瀬川のウェブサイトです。

## 屋根のない生きた建築博物館・京都を巡る「モダン建築の京都」ツアー



©京都市上下水道局

本展の展示構成にあわせて全4つのコースをとっておきのガイドで巡る少人数ツアー。ツアーに応じて琵琶湖疏水船や専用車、徒歩で移動しながら、建物の鑑賞や食事を楽しめる。詳細は「HISモダン建築の京都」で検索。

## 花山天文台



撮影：三吉史高

日本で現役最古の望遠鏡が稼働する天文台。特徴的な白い外観や、エントランス廻りなど、建築的な見どころが満載。本展にあわせて、花山天文台（土日のみ公開）との相互優待もあり。詳細は本展ウェブサイトです。

## 大雲院 祇園閣（京都市大倉別邸祇園閣）特別公開



祇園祭の鉦を模した伊東忠太設計の奇想建築。本展にあわせて、その中に入れる特別公開が。閣上からは360度周囲の眺望も楽しめる。期間：2021年11月19日～12月6日 主催：大雲院・公益社団法人京都市観光協会

## 旧三井家下鴨別邸 主屋2階・3階望楼特別公開



大正14年完成の豪商三井家の別邸。通常非公開の望楼を特別に公開。四方のガラス張りの望楼からの眺めは格別。 期間：2021年11月18日～12月7日（期間外は通常公開、水曜休館） 主催：旧三井家下鴨別邸運営コンソーシアム・公益社団法人京都市観光協会

## 長楽館（旧村井吉兵衛京都別邸）特別公開



©長楽館

和洋の芸術様式を華麗にフュージョンさせた貴客のための迎賓館を、通常非公開のエリアまでたっぷり堪能できる特別公開。そこから望む美しい東山の景色は必見。 期間：2021年11月13日～12月5日（除外日あり） 主催：公益財団法人古文化保存協会

## 京都建築映像祭2021



撮影：三吉史高

建築をテーマに据えた映画上映やトーク、イベントを本展会期中に京都文化博物館フィルムシアターや当館で開催。近代建築運動を哲学、文学、音楽、映画から学べる。展覧会と映画鑑賞チケットの相互割引もあり。お問い合わせはヴェッター公園まで。

## 京都鉄道博物館



©京都鉄道博物館

京都鉄道博物館では、本展とあわせて観たい収蔵写真展「鉄道にみる建築」を2021年7月31日～12月5日まで開催。2代目京都駅、旧二条駅舎、2代目奈良駅等の写真などが展示される。詳細は京都鉄道博物館ウェブサイトです。

## 展覧会公式オンラインサロン（まいまい京都）



まいまい京都がお送りする「モダン建築の京都」公式オンラインサロン。本展の仕掛け人や建築史家が、建築の楽しみ方から裏話までをお届け。オンラインサロン会員限定の特別ツアーも開催。 左から笠原一人氏、倉方俊輔氏、前田尚武

## オフィシャルブック 「モダン建築の京都100」

本展の36の建築物を含む、京都に現存する100のモダン建築を選定して紹介した、展覧会の副読本兼まち歩きガイドとして活用できるオフィシャルブック。7つのテーマで、京都のモダン建築を解説する【フィールド編】と展覧会記録【アーカイブ編】の2冊組。

編著：石田潤一郎、前田尚武  
制作・編集協力・発行・発売：Echelle-1  
日本語版発行日：2021年9月予定、  
本体価格3,000円（税込）  
英語版発行日：2021年9月予定、  
本体価格4,000円（税込）



## 音声ガイドアプリ 「モダン建築クロニクルKYOTO」も登場！

京都市内の建物のもとへ足を運び、目の前でその魅力や歴史など、モダン建築の年代記（クロニクル）を“声”でお届けする音声ガイドアプリ。京都市京セラ美術館の館内をご案内する《建物探訪ツアー》、岡崎・京都市京セラ美術館界隈コース、三条通・京都文化博物館界隈コースなど京都が誇るモダン建築を巡る5つの《まち歩きツアー》等をご用意。各コース600円（税込）、会期中セット価格あり

公式サイト  
<https://modakuro.com>



※画面は開発中のものです

詳細は展覧会サイト[連携企画]から



主催：モダン建築の京都展実行委員会（京都市、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都）

監修：石田潤一郎（京都工芸繊維大学名誉教授）

企画：前田尚武（京都市京セラ美術館 企画推進ディレクター）

アドバイザー：山形政昭（大阪芸術大学名誉教授）、中川 理（京都工芸繊維大学名誉教授）、

田路貴浩（京都大学教授）、中嶋節子（京都大学教授）、倉方俊輔（大阪市立大学准教授）、

河野良平（京都橋大学准教授）、笠原一人（京都工芸繊維大学助教）、

三宅拓也（京都工芸繊維大学助教）、石川祐一（京都市文化財保護課技師）

協賛：清水建設株式会社、日本管財株式会社、株式会社松村組

後援：観光庁、公益社団法人京都市観光協会、公益社団法人京都府観光連盟、

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、

公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築学会、

公益社団法人日本建築士会連合会



## 📍 展覧会情報 / Exhibition information

会場：京都市京セラ美術館 新館 東山キューブ 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124

開館時間：10:00～18:00（入場は閉館の30分前まで） 休館日：月曜日（祝日の場合は開館）

観覧料（税込）

一般1,900円（1,700円）大学専門学生1,400円（1,200円）高校生900円（700円）小中学生400円（200円）

※（ ）内は前売・20名以上の団体料金（前売は当館公式オンラインチケットe-tixのみで販売）

※会期中もe-tixからの購入で各当日料金から100円引き（一般1800円、大・専1300円、高800円、小中300円）

※京都市内に在住・通学の小中学生は無料（要証明）

※障害者手帳等の提示により本人及び介護者1名無料

お問い合わせ：TEL. 075-771-4334 モダン建築の京都展とオンラインチケットe-tixの詳細はこちら→



©新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更することがあります。最新の情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

Venue: Higashiyama Cube, Kyoto City KYOCERA Museum of Art

124 Okazaki Enshoji-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8344 Japan

Hours: 10:00-18:00 (Last admission: 30 minutes before closing) Museum closed on Mondays, except public holidays.

Admission:

Adult ¥1,900 (Advance/Group ¥1,700) University student ¥1,400 (Advance/Group ¥1,200) High school student ¥900 (Advance/Group ¥700)

Elementary and junior high school student ¥400 (Advance/Group ¥200)

Inquiry: TEL. 075-771-4334

©The above may be subject to change depending on conditions related to COVID-19. Please visit the Museum's website for the latest information.

**WEB. [kyotocity-kyocera.museum](http://kyotocity-kyocera.museum)**

## 📍 アクセス / Directions

電車

・地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約8分

・京阪電鉄「三条駅」から徒歩約16分

市バス

・「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

・「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

-By subway/Keihan Railway

8 minutes walk from Higashiyama Station of Kyoto city subway Tozai Line.

16 minutes walk from Sanjo Station of Keihan Railway.

-By bus

1 minute walk from Okazaki Koen/Bijutsukan, Heian Jingu-mae.

1 minute walk from Okazaki Koen/ROHM Theatre Kyoto, Miyakomesse-mae.

